

事項	ハウス向けぶどう有核「ロザリオ・ロツ」を450gの果房とするには開花直前に花穂長を5cm程度に整形する		
ねらい	赤色で食味の良いハウス向けのぶどう品種「ロザリオ・ロツ」は、通常の花穂整形法（花穂長7cm）では果房が大きくなりすぎ、糖度が低くなる傾向がある。そこで、他のハウス向けぶどうと同程度で、詰め合わせもできるよう、果房重450gを目標とした花穂整形法を検討し、開花直前の最適な花穂長が明らかにしたので、参考に供する。		
指導 参考 考 内 容	<p>花穂整形法</p> <p>1 花穂整形 開花直前（無加温ハウス栽培で6月上旬頃）に、花穂の先端を1cm切りつめ、岐肩及び上段の支梗を切除して、花穂の長さを5cmに整形する。</p> <p>2 摘粒 小豆粒大～大豆粒大（無加温ハウス栽培で6月下旬～7月上旬）までに、混み合った部分や小粒の果粒を摘粒し、果粒数を1房当たり50～60粒程度にする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="384 943 938 1397" style="text-align: center;"> <p>図 花穂整形方法</p> </div> <div data-bbox="1070 864 1406 1397" style="text-align: center;"> <p>写真 花穂整形後の花穂</p> </div> </div>		
期待される効果	収穫時に450gの適正な大きさの果房となり品質が向上する。		
利用上の注意事項	「ロザリオ・ロツ」の有核栽培にのみ適用する。		
担当部署 (担当者名)	農林総合研究センターりんご試験場県南果樹研究センター (山道和子、西舘勝富、久保 隆)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19～20年度 農林総合研究センターりんご試験場県南果樹研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「ロザリオ・ロツ」の花穂整形及び摘粒 (平成19～20年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

調査年度	区	花穂整形		摘粒		収穫時
		処理月日	処理後着花数	処理月日	摘粒数	着粒数
平成19年	花穂長 4 cm	6月14日	101.0	8月7日	37.0	61.4
	5 cm		149.6		63.2	67.6
	6 cm		199.2		84.8	82.6
平成20年	花穂長 3 cm	6月3日	77.3	7月4日	43.1	32.0
	4 cm		118.8		56.5	50.6
	5 cm		144.3		80.7	52.0
	7 cm (慣行)		-		93.2	89.2

- (注) 1 耕種概要：平成19年；ロザリオ・ロツ／F 5 C、12年生、垣根仕立て
平成20年；ロザリオ・ロツ／F 5 B B、4年生、垣根仕立て
2 無加温ハウス被覆日：平成19年：3月20日 平成20年：3月20日
3 供試数：1区5～10新梢（1新梢に1果房）
4 摘粒数：無核小粒果を含む。

表2 収穫果の果実品質 (平成19～20年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

調査年度	区	房重 (g)	果房形	着粒数 (個/果房)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
平成19年	花穂長 4 cm	470	円筒～円錐	61.4	7.6	18.1	0.45
	5 cm	462	円筒～円錐	67.6	6.8	18.0	0.48
	6 cm	537	円筒～円錐	82.6	6.5	18.0	0.44
平成20年	3 cm	211	円筒～円錐	35.7	5.9	20.1	0.58
	4 cm	394	円筒～円錐	61.2	6.4	19.9	0.69
	5 cm	422	円筒～円錐	62.7	6.7	19.9	0.64
	7 cm (慣行)	654	円筒～円錐	91.8	7.1	18.6	0.70

- (注) 1 供試数：1区4～10果房
2 酸度：酒石酸換算
3 1粒重：房重／着粒数



写真1 花穂長の違いと果房の大きさ (平成20年 青森農林総研りんご試県南果研セ)